



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 古橋 直彦
- 幹事 遠藤 隆浩
- 会報委員長 塚本 直人



<会長の時間>

13 日 (土)、高山市キャリア教育を考える会「出前講座」に日枝中学校にクラブメンバー 16 名で参加してまいりました。全体講話をされた挾土さん・門前さん、分科会で各教室の教壇に立ちました 11 名の会員の皆様、統括をして頂きました大村青少年育成委員長さん、学校との窓口となって頂いた PTA 会長の井上さん、皆様、本当に御苦労さまでした。「出前講座」の詳細は 2 月 26 日の例会で発表させていただきます。

そしてその翌 14 日 (日) には、今年度・次年度合同の職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕合同研修セミナーが岐阜グランドホテルで開催されましたので、現と次期の会長幹事そして 3 委員会委員長さん計 10 名で参加してまいりました。

さて、2 月 23 日は富士山の日 (2.23 の語呂合わせ)、また我々ロータリークラブの創立記念日です。ロータリーの国際大会は、R I 理事会の決定する時と場所において、ロータリー年度の 4~6 月の間に開かれます。2005 年にはロータリー創立 100 周年を祝って、ロータリー発祥の地であるシカゴで開催されました。今年度は 5.28~6.1 まで、お隣の韓国ソウルでの開催が予定されています。

日本での国際大会は過去に 3 回開催されています。1961 年 (S36)、1978 年 (S53) の東京。そして 2004 年 (H16) の大阪です。特に大阪で開催された国際大会には、参加者が 45,000 人を超え、過去の記録を塗り替え、この記録はまだ破られてはいないようです。日本で開催された国際大会はいずれも盛況のようです。

その日本で初めて開催された国際大会ですが、1961 年 (S36) 5 月、世界 74 ヶ国から 23,000 人のロータリアンが参加して、現在は東京ビックサイトとなっています東京晴海の国際貿易センターで開催されました。国際大会としては 52 回目ですが、日本で初めての年次大会だけあって熱の入りようが半端じゃなかった様で、登録も日本からは 16,011 名あったそうです。また、この大会には天皇、皇后両陛下が会場へ姿をお見せになり開会のお言葉を述べられました。また、当時の池田首相も挨拶をされています。

さて、前置きが長くなりましたが、1978 年 (S53) 2 回目の国際ロータリー東京大会と 2004 年 (H16) の国際ロータリー大阪大会にはそれぞれ記念の切手が発売されています。

1978 年は第 69 回の大会で東京・代々木の国立競技場をメイン会場に行われ海外からの約 9,000 人を含め約 40,000 人規模の大会でした。その際、発行された記念切手は、縦長の長方形の切手で上部に国際ロータリーのシンボル・マークとその下に葛飾北斎が描いた富士山を配したものです。北斎の描いた全体の絵から富士山と二羽の丹頂鶴がはばたいていく一部分が切り取られ採用されています。描かれた場所は、東海道の大磯と小田原の中間あたりだそうです。切手の図柄の富士山と丹頂鶴は開催地東京ともロータリークラブ

とも直接関係の無い題材ですが、日本文化を広く高め世界に紹介したいという意図から①日本のシンボルの富士で姿の良いもの②日本切手に登場していないもの③目出度い事が起こる前兆の鳥が描かれているもの④開催時期にふさわしい季節感が感じられるものとの観点から切手に採用されたそうです。

また、1978 年 (S53) の東京大会に続き、日本で 3 回目の国際大会が 2004 年 (H16) 海外から約 130 ヶ国、国内外合わせて 45,000 人が参加して大阪ドーム等で開催されました。この時はふるさと切手「国際ロータリー 2004 年国際大会 (関西)」として発行されています。デザインは国際ロータリーのシンボル・マークと国際ロータリー 2004 年国際大会が開催される 5 月を代表する花である杜若(かきつばた)をデザインしています。この杜若は江戸琳派の鈴木其一(すずききいつ)筆の屏風絵の一部が抜粋されました。

<幹事報告>

◎可茂ロータリークラブより

- ・創立 30 周年記念式典ご臨席のお礼

◎高山市教育委員会学校教育課長より

- ・高山市キャリア教育を考える会担当者打ち合わせ会の開催について
- 日時 3 月 8 日 (火) 15:00~16:00
- 場所 高山市役所地下 002 会議室

◎高山中央ロータリークラブより

- ・創立 25 周年記念誌

◎飛騨作家協会より

- ・「文苑ひだ」第十号記念祝賀集会のご案内
- 日時 3 月 13 日 (日) 17:00~ 講演 18:00~ 祝宴
- 講師:元ブリジストン副社長(高山市出身) 内山 彪氏
- 場所 高山グリーンホテル 参加費 10,000円

<受贈誌>

東日観光(株)「2016 年国際ロータリー年次大会(ソウル大会)参加旅行募集案内」、R I「ロータリー創立 111 周年を祝おう」、(財)米山記念奨学会「ハイライトよびま 191」「インターネットバンキングを利用したご寄付についてのアンケート結果」、岐阜県環境生活部人権施策推進課長「人権だより No. 64」

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32 名	2 名	34 名	42 名	80.95%
本日	34 名	-	34 名	42 名	80.95%

世界へのプレゼントになろう

例会報告

<本日のプログラム>雑誌・広報委員会

委員長 山下 直哉

本日は雑誌広報委員会担当例会ゲストとして、(有)プレス代表取締役 細井 卓美 様にお越しいただきました。細井様は、皆様もよくご存じの「月刊プレス」の発行の他、各種イベントも精力的に開催されています。ご講話よろしくお願いします。



(有)プレス 代表取締役 細井 卓美 様

こんにちは。ありがとうございます。今日はよろしくお願ひいたします。

お話をいただきました山下先生は、広報担当なさっているということで、広告の仕事をしております、私に話が回ってきたようです。お役に立てるお話はできませんが、30分いただきましたので、私がどんな思いを持ち仕事をさせていただいているのかに話を絞りたいと思います。私はこれが良いと思い、楽しくしているごとでありますので、良い悪いは別としてどうかお聞きください嬉しいです。

現在会社は、社員数18名(内パート2名)です。外部スタッフとして、7名ほどの方々にお手伝いいただいております。外部スタッフは以前社員として勤務していた方ばかりで(現在は独立しデザイン、写真スタジオ、主婦)と、いろいろではございますが、今も仕事に関わって頂けることを本当に嬉しく思っております。それぞれが自分の仕事として選んだ広告制作。プレスに入社してくれて成長段階を共にし、今もその道を自分の仕事として精一杯楽しんで、それぞれのカタチで活躍なさっている。

「お客様に喜んでいただく」という同じ思いを持ち、今でもプレスのお仕事を手伝ってくださっている。人材が少ない中で、本当に助かっております。外部スタッフの皆さんには感謝いたしております。仕事内容は広告業ですが、売り上げ構成比としては、毎月発行の月刊プレスが全体の約45%、チラシ、パンフほか印刷物等が45%、その他WEB・共通ポイントカードなどが約10%となります。中でもいろいろな業種の皆様からは最近、「共通ポイントカード」に興味を持たれ、加盟店が増えてきております。大手のTポイントカードとの大きな違いである、顧客管理と情

報発信。プレスからは全ての加盟店様のカード会員さまへ情報発信ができる点などが特徴です。もちろん、Tポイントやnanaco他、ポイント交換もできる点はカード会員様から喜ばれております。

会社は平成9年9月21日に、一人からはじめ、2年目に法人化、来年は創業20年を迎えさせていただきます。創業前、私は全く「自分は独立して会社を経営するんだ。」という思い、そんな夢など全くありませんでした。それがある日、営業で関方面へクルマを運転中、強烈な思いが湧いてきた日があり、今でも覚えております、10時40分頃、車を止めその想いをノートに書きとめました。いろんな言葉が浮かぶがままに書き留めました。なんの迷いもなくその翌日、10年勤めさせていただいておりました会社に、退職のお願いをいたしました。その時、私は自分の役割と言うものを何気なく感じ、その想いを「5つの誓い」として、仕事をスタートさせました。

プレスと言うと、講演会・映画上映・コンサートなど、イベントをよく開催している会社というイメージも持たれておられるかもしれません。この活動も私にとってはとても大切なことなのです。私の中では、プレスという会社。そうした各種イベント。そして私生活。すべてが一つに繋がりが境界線、区切りが全くありません。大きな輪の中で、それぞれが繋がっている感覚です。「喜びと幸せを広め、より多くの人が輝くように。」この想いがすべてをつなげているのです。その輪の中で、「嬉しく楽しく、宇宙に喜ばれる生き方をしたい!」社員も、周りにも嬉しく楽しく関わり仕事ができたらと思っております。各講演会、コンサートなどの活動、すべてとても大切な役割を持っているのですが、中でも今年6回目となるアースデイは、いろんな出逢い、各地から人が集まり、繋がっていく。大きな役割を持っていると感じています。そして今年もいろんな行事があります。私の場合、本を読み感動した著者には必ず連絡を取り、逢いに出かけます。またテレビで感動した方の場合もそうです。連絡を取り、お逢いできるようお願ひいたします。自分だけの感動にしておくのがもったいなく、地元の多くの人に紹介したい。聞いてもらいたいという思いから、こうした活動を始めました。3年前のアースデイに来ていただいた書道家金澤翔子さんの場合は、金スマで翔子さんの書の実演を見たときは、涙が溢れる感動があり、翔子さんのお母さんに連絡をして、一年半後によりやく来ていただけるようになりました。また、パンを注文し10年待ちと言われる鎌倉の天使のパン。食べた方々から感動の手紙が続々。体の不調が良くなった。心が救われた。病気もどんどん良くなってきた。パンを作る元競輪選手、事故で障害が残りリハビリで始めたパン作り。多良良さんとの出逢いは、書店で何気なく手にした本がキッカケでした。自分が楽しくてワクワクすることで、多くの方に喜んでいただける。皆さん感動してくださる。本当に嬉しいことです。

私は30年間休んだことがありません。自慢できるようなことでもございませんが、自分の中では奇跡です。小さい頃から、

世界へのプレゼントになろう

例会報告

私は気づきをいただくまで、自分は「こういう人間なんだ」と自分で決めつけていました。何々が苦手だ、私は体が弱いんだ。と言うように。振り返って見ると、ある人の話をキッカケに、そんな今までの過去の出来事、過去の感情や囚われから解放されることができました。ほんと小さい頃から、小・中学校時代、一番欠席の多い生徒でした。20歳頃は肝臓で入院、胆嚢炎、自然気胸などの病気を繰り返し、何日も休むというような状態。「病気はあるものだ」と、その頃はその病気というものをしっかり掴んでいたわけです。

稲盛和夫さんの本を読んだとき、ほんの数行でしたが書かれていることがありまして、その本の中で、稲盛さんは若い時代肺結核でかなり悪い危険な状態であった。しかし瞬時にその結核は消えてしまった。とも書かれておりました。今の現象に囚われない。感情、出来事、そんな過去の自分を手放し、考え方が全く逆になったときから、私の場合も自分の体験することや、見ている環境が少しずつ変わり始めたのです。「病気はない」という力強い言葉が、潜在意識を変えてくれたのだと思っています。しかしその後、病気は無いと思いながら、自分はまだ医療保険に入っている。これはおかしい。信じきれていない自分がまだいる。そう思ったとき医療保険を解約し、解約金をイベント開催に当てたり、今までの毎月の掛金分も、そうした活動に使って、自分も楽しみ、さらにそれが多くの幸せと喜びとなって広がっていく。いいことでいっぱいなんです。過去から時間が流れてくる(過去の延長線上に今の自分がいる)のではなく、「自分が投げかけている言葉や思い(思考)が、今この瞬間(現実)を創りだしている」というように考えるようになったのです。時間は点であり、そして同じ時間に自分はどの次元にも存在しているという事も理解できるようになってきました。存在している場所が一つではないという事が体験で理解できるようになりました。

いろいろ学ばせていただくことばかりですが、身近な社員からの学びが多いです。皆嫌はどうですか? 気に入らないことも、嬉しいことも会社での学びが多くないですか? 昨日もありました。社内のもめ事。今までも社員間のコミュニケーションが上手くいかない。誰々がこういった。など終わったかと思うとまた出てきます。なぜなんだろう? そんな問題が起きる度に、私はそれぞれ個人(個々)の問題と考え、解決策は、原因を追求したり、社員が変わるための研修だったり。不足している知識を社員研修で補うなど、外側にその原因を求め、足りないものを入れ込む、インプット方式の研修法によって、周りが、社員が変わってくれたら良くなるかと考えていたのです。インプットも必要ではあります。しかし私たちすべての内面にすでにある、無限の可能性を引き出すアウトプット方式が、それぞれの良さが輝き出すことにも気づきました。

毎日のように新しい発見があります。この世の現象(私が見ているこの世界)は、私の内にあるものを見て、私の内にあるものを体験しているんだ。自分が見るものを体験することのすべての

創造主は、自分なんだ。自分の中にないものは経験しない。この気づきはエンドレスのように繰り返される出来事を終わりにすることができることでした。(起きた出来事に感謝し、ありがとう。現象として現れた時点で終わったんだ。その出来事に囚われているから同じ事がカタチを変えてまた経験する。過去にとらわれない。手放す事の大切さ。)どんな気に入らないことでも、嫌なことでも自分では気づかない自分の内面を、社員や他の人が「その部分」を、その人を通じて演じてくれて、見せているのだということです。出来事は周りからやってくる。ではなく全く逆だったのです。

するとどう自分が変化してきたか。本当に変わり、いつも気分よく嬉しく楽しい自分での事が多くなりました。他を変えようとしていた自分から、自分が変わる事への気づき。私が欠かさず毎日行っていることに瞑想があります。朝4時5時、心の平和を感じる事ができるよう、静かな部屋での祈りの時間。少しずつではありますが自我(エゴ)を剥がしていくことができます。「ありのまま」から「ないがまま」「無分別」区別しない。玄侑宗久さんの最新の本『ないがままで生きる』もとてもいい本でした。自分というもの(個)はなく、境界線もなく、他人のように見えているが実は自分、全ては繋がり、全てが大きな命そのものである。私は、肉体を通して命を表現し観察している存在。そう感じています。これは私が感じている事でして、私にはその生き方が合っていて、それが楽しいだけありますのでご了承ください。正しいということでも全くありません。

もう少し深い話をさせていただいてよろしいでしょうか。アインシュタインが発見したゼロポイントというのがあります。このゼロポイント(虚空、空、実相)最近はいろんなことがわかってきております。原子が大垣共立銀行さんの建物の大きさとすると、原子核は米粒の1/10位でしょうか。あとは空間、スカスカ状態。こうして物質として見えているもの、ノート、机、椅子、さらには肉体、全てスカスカ状態(空間)であるわけです。そのスカスカ状態の空間に、ゼロポイントに微量のエネルギーが存在していると最近わかってきたわけです。それがアインシュタインの言っていた全ての現実であり、全てを作り出す創造エネルギーです。(全情報があり、全てと繋がっている。瞬時に相互作用する。)総エネルギーは、通常の科学で対象とされてきた物質内のエネルギー総量の、何と10の40乗倍も存在するらしいです。

私は早く会社に瞑想ルーム(このゼロポイントと繋がり、私たちの振動数を整え、無限の叡智にアクセスできる場)をつくり、社員と共に目標と言うより、同じ意図をゼロポイントに発信し、意図の種を植えていく。社員の健康と幸せのためにもゼロポイントを感じる瞑想を取り入れていきたいと考えています。本質と繋がり、無限の力を発揮できるようになれば素晴らしいです。瞑想を取り入れている企業は海外では多いです。日本でも瞑想している会社はあります。(例えば島根の益田ドライビングスクール。全国から年間6000人が集まる自動車学校。教習所で

例会報告

免許を取り、帰る頃には生き方まで変わっているという学校です。その自動車学校では午後1時からスタッフは瞑想室で瞑想しております。)

話は戻りますが、アースデイ(目的は、私たちの本質への目覚め)というイベントも今年は6回目になります。全国からも参加されるようになってきたイベントです。昨年は国連総会におけるインドのモディ首相の提案で、6月21日は「世界ヨガデー」と決まり、今年のアースデイはアースデイ飛騨高山&ヨガデーといたしました。ヨガ、瞑想のワークを通じて大宇宙との一体感をより多くのおみなさんに体験していただき、真実の自分を発見できるキッカケとなったらいいなと思っています。全てから解放され「愛で生きることを柱」として、心の平和の波動が世界に広がっていったら本当に嬉しいです。

こうあるべきだ。こっちが正しく、それは間違いでしょ。評価や批判することが多い現在、心を閉ざしてしまう人も多いです。この宇宙は絶対に人を裁かないし、批判したりしません。全てOK! 私たちの全てを受け入れてくれます。そんな環境を作りたいし、地域になったら素敵ですし、私はそんな会社を目指します。ブレスでは売上目標がありません。個人のノルマ、目標もありません。目標等でやる気の上がる人もいれば、逆にモチベーションが下がり、生き生き働けないものもいます。どちらもオクケーなんです。「どれだけやるぞー」と決めた方が楽しくモチベーションも上がり仕事ができる人はそうすればいいし、楽しくなければやらない方を選択すればいいし。自分が楽しい方を選べばいい。そう思ったからです。「宇宙に喜ばれる会社」毎日祈りの仕事をさせていただくことで、全ての人が輝き、喜びにあふれ、そして素晴らしい「愛の星地球」が姿を現す。私はそんな会社を理想としています。これからもより多くの人の幸せを祈り、毎日嬉しく楽しくお仕事をさせていただきます。今日は本当にありがとうございます。

まとめ

他人を変えようとして、
周りの環境を変えようとしても全く無意味です。
自分の意識を変えさえすれば、
周囲の環境、見るもの全てがおのずと変わってきます。
人を変えることが私の仕事ではありません。
私がほんとうにやるべきことは、
唯、自分の意識を高めること、成長させることです。

<ニコニコボックス>

●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん

- ・先日の出前講座には多くの皆様に参加頂き有難うございました。
- ・14日岐阜グランドホテルでの合同研修セミナーへ多数参加頂きました。大変有意義な一日でした。有難うございました。

●山下 直哉さん、岡田 賛さん、田近 毅さん、向井 公規さん

ブレス代表取締役 細井 様、本日は卓話の依頼を快くお受け下さりありがとうございました。卓話楽しみにしております。よろしくをお願いします。

●大村 貴之さん、鴻野 幸泰さん

先週13日は青少年育成委員会の行事「高山市キャリア教育を考える会『出前講座』」に講師として多数の会員の方にご参加頂きありがとうございました。さまざまな立場でお話し頂き生徒の将来に対する参考になったと思います。

●狭土 貞吉さん

先日の出前講座、ロータリーの4つのテストに照らしてみんなのため(生徒のため)になったかどうか気になっています。飛騨弁の早口で職人の事理解できなかったと思います。ゴメンナサイ。

●田中 武さん、門前 庄次郎さん、米澤 久二さん、堺 和信さん、住田 泰典さん

先週の日枝中学校でのキャリア教育を考える会で出前講座の講師を務めました。生徒の将来にする参考になったか不明ですが、自分の仕事を見直す機会になりました。

●新井 典仁さん

先週の13日、日枝中学校にて出前講座をさせていただきました。上手く話すことは出来ませんでしたが、生徒さんの無邪気な姿にとっても癒されました。有難うございました。

●田中 正躬さん

- ・先日の日枝中での出前講座に参加させていただき有難うございました。2年C組で話をさせてもらいましたが、子供達の真摯な眼差しに感動すると共に話した事が伝わったかどうか心配になりました、反省。
- ・岐阜グランドホテルでの合同研修セミナーに出席された方々ご苦労様でした。都合でバスにはご一緒出来ませんでしたが、帰ってからの反省御苦労様会が良かったです。

●伊藤 松寿さん

昨日2月18日、可児ロータリークラブの例会に招かれスピーチをして参りました。演台は「ロータリーの友について」と言う事で何とか30分の持ち時間をこなすことが出来ました。

●新田 敬義さん

遅くなりましたが誕生祝いありがとうございました。利用させていただきます。

●杉山 和宏さん

本日、妻の誕生日で花束をいただき、また、今月結婚記念のワインもいただきありがとうございました。花束を見て思い出、誕生日プレゼントを何にしようか悩んでおります。

●垣内 秀文さん、斎藤 章さん

本日、早退させていただきます。

世界へのプレゼントになろう